



# 事故の危険 こんなところにもかくれんぼ!

## 危険! 住宅地の生活道路

車通りが少ない住宅地の生活道路では、普段その道路を利用して  
いる歩行者が「めったに車はこないから…」と油断して、**安全確認  
をせずにいきなり道路を渡り始め、横断中に車と衝突する事故が  
多発しています。**



**歩行者は…**

●横断前に一度立ち止まり、右  
左を見て車がきていないか確か  
め、車がきていないときに渡り  
ましょう。横断中も周りを見て、  
特に道路を半分渡り終えたら、  
左からの車に注意しましょう。

**ドライバーは…**

●住宅地の道路を通行するとき  
は、前方のあちこちに目配りし  
て歩行者の早期発見に努めま  
しょう。道路脇に駐車車両や電柱  
などがあれば、その陰からの歩  
行者の横断も予測しましょう。

## 危険! 信号がない交差点

車通りが少ない住宅地にある無信号交差点では、その地域の自転  
車利用者が「めったに車はこないから…」と油断して、交差点での  
一時停止や**安全確認を怠り、交差道路の車と出会い頭に衝突する  
事故が多発しています。**



**自転車利用者は…**

●たとえば、普段は車あまり通  
らない交差点でも油断せず、一時  
停止の標識がある場所では必ず  
一時停止をして、交差道路から  
車がきていないかどうか、しっ  
かり確かめましょう。

**ドライバーは…**

●特に住宅地の交差点では、交  
差道路側に一時停止の標識があ  
る場合でも、一時停止を怠って  
交差点に突っ込んでくる自転車  
に警戒し、交差道路の安全を確  
かめてから通行しましょう。

## 危険! 青信号の交差点

信号が「青」だと、歩行者・自転車利用者もドライバーも「青だか  
ら安全…」と油断して、互いに安全確認がおろそかになり、**横断  
歩道(自転車横断帯)を渡っている歩行者・自転車と、交差点を右  
左折する車が衝突する事故が多発しています。**



**歩行者・自転車利用者は…**

●信号が「青」でも油断せず、横  
断前に交差点の状況を広く見渡  
して、交差点を右・左折してく  
る車がないかどうか確かめま  
しょう。また、横断中も油断せ  
ず、車が近づいてこないかどう  
か注意しましょう。

**ドライバーは…**

●交差点を右・左折するときは、  
横断歩道(自転車横断帯)上や付  
近の歩道上に目配りし、横断中  
または横断しようとしている歩  
行者・自転車がないか確かめ  
ましょう。

## 危険! 渋滞ぎみの道路

車の通行量が多く、流れが停滞しがちな街なかの道路をノロノロ  
と走行しているときは、ドライバーがつい飲み物に手を伸ばした  
り、カーオーディオを操作したりして無意識に脇見をし、**不意に  
減速・停止した前の車に追突する事故が多発しています。**



**ドライバーは…**

●渋滞でスピードを出していな  
いからといって油断せず、先々  
の交通状況にもしっかり目配り  
し、前の車の減速・停止を先読  
みして、いつでもブレーキを踏  
める態勢で追従しましょう。

万が一の事故に備え、  
ドライバーも同乗者も  
**必ずシートベルト&  
チャイルドシート!**

シートベルトはOK?

**飲酒運転は凶悪な犯罪行為です。**  
**ドライバーはもちろん、同乗者も酒類・車両の提供者も厳罰!**

多発事故の危険は、意外と身近な場所に隠れています。油断せず、必ず安全を確かめましょう!

# 交通安全家庭新聞

2018年  
**春**



**事故の危険**  
**見つけられるかな?**

「かくれんぼ」は、あちこちに隠れた「子」を「鬼」が探す遊びですが、「鬼」は、ただやみくもに「子」を探しても、なかなかすくには見つけられないものです。

これは交通場面でも同じで、ドライバーはもちろん、歩行者や自転車利用者も、どのような場面に、どのような事故の危険が隠れているか…を予測して危険を探さなければ、肝心の危険を見落としたり発見が遅れたりして、交通事故を起こす危険性が高くなります。

## 南達交通対策連絡協議会

本宮市・大玉村交通対策協議会 / 郡山北警察署本宮分庁舎  
本宮地区交通安全協会 / 本宮地区安全運転管理者協会  
安全運転管理本宮事業主会 / 南達交通教育専門員連絡協議会  
本宮市・大玉村交通安全母の会連合会 / 本宮市・大玉村高齢者交通安全指導隊

平成30年 **春の全国交通安全運動** 4月6日(金)～4月15日(日)

## 子どもと高齢者を交通事故から守りましょう!

- 新入学(園)児などのおさない子どもは、道路での安全な行動がまだ身につけていないため、通学(園)の途中などに危険な行動をすることが少なくありません。また、高齢者の歩行者は、加齢に伴う心身機能の低下により危険な行動をしがちで、道路横断中に事故に遭う危険性が高くなります。
- 保護者や家族は、子どもや高齢者の危険な特性をしっかりと理解したうえで、子どもや高齢者に対する安全指導・アドバイスをしっかり行い、子どもと高齢者の事故防止を図りましょう。

### 子どもの危険な特性

#### ①道路にとび出す…



#### ②同伴者がいると、危険な行動をしがち…

#### ③車などの小さな物陰にも姿が隠れやすい…



#### ④右・左折車に対する警戒心が乏しい…

### ■子どもの指導ポイント

- ①とび出しがなぜ危険か、子どもにしっかりと理解させる
- ②車などの陰からの横断の危険性を理解させる
- ③信号の見方や、青信号でも危険があることを指導する

### ■高齢者への安全のアドバイス

- ①できるだけ背すじを伸ばし、広い範囲を見渡しながら歩く
- ②横断前に必ず右左を見て、車がきているときは、「まだ渡れる」と思っても、その車が通りすぎるまで待つ
- ③夜間に外出するときは、暗がりでも目立つよう明るい色の服装をし、反射材も着用する

### 高齢者の危険な特性

#### ①視線が足元に偏るなど、見えている範囲が狭い…



#### ②安全を確かめてから行動までに時間がかかる…



#### ③近づいてくる車との距離を見誤りやすい…

#### ④黒っぽい服装をしがち…

## 平成30年 春の全国交通安全運動

..... 交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(火) .....

運動期間 平成30年4月6日(金)から4月15日(日)までの10日間

運動のスローガン よくみせて ちいさなきみの おおきなて

年間スローガン みんながね ルール守れば ほら笑顔

- 運動の重点 (1) 子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- (2) 自転車の安全利用の推進
- (3) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (4) 飲酒運転の根絶

